

第35回雛松会総会・懇親会



雛松

第47号



平成28年3月10日

雛松会

大阪教育大学
附属天王寺小学校
〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町
1丁目2-45
TEL. 06(6621)0123

140周年に向け 気持ち新たに

110期(平成3年卒)
南 満

平成27年4月11日(土)、日本で最も高い高層ビルである「あべのハルカス」が母校近くに誕生して2年。その中にある大阪マリOTT都ホテル20階西の間にて「第35回雛松会総会・懇親会」が92人の参加で開催されました。

西雅夫会長の挨拶の後、水野恵司名誉会長校長からご挨拶を頂戴し、その後、役員選任の報告、赤尾会計監事の会計報告、議事は滞りなく進行してまいりました。

附小で教壇を取られた服部敬一先生による乾杯のご発声で、懇親会へと場が切り替わり、豪勢な食事と荘厳な雰囲気の中、今回もPTAコーラス部の方々の参加を得、会場を大変盛り上げていただきました。

会場となった一語の間は、大きな窓から明るい光が降り注ぎ、見晴し抜群のロケーションで、日没の時間には、西に沈んでいく美しい夕日を見ることができ、その瞬間に会場からも声がかかっていました。

その後、副校長である山手隆文先生から母校の近況報告をしていただき、参加の皆様も熱心に耳を傾けておられました。住野公一さん(昭和35年卒)によるチェロとピアノの演奏もお聴きでき、会場の雰囲気がいよいよ引き立てられていきました。恒例の校歌斉唱では参加者全員が一体になり、吉村計三副会長からの閉会の辞と、あっという間に2時間が経過しました。

附小の持っている、厳しい中にももったりとしたやさしい環境を大切に、140周年に向けて、参加した皆様がまたまた会合と感じました。



第35回雛松会総会・懇親会



第35回雛松会総会・懇親会



<主な記事>

- ◆総会報告・ジュニア会のご案内……………1面
- ◆名譽会長・会長挨拶……………2面
- ◆附小NOW、校医の臨海帯同記……………3面
- ◆転出された先生方……………4面
- ◆お元気ですか 近況報告……………5面
- ◆同窓生の活躍……………6面
- ◆同期会報告、寄稿……………7面
- ◆年会費納入者一覧……………8面

雛松会 ジュニア会のご案内

★平成21年卒～平成28年卒の人

日時 平成28年3月28日(月)
AM10:00～12:00

場所 母校(附属天王寺小学校)

内 容

- ◎議事
 - ◎アトラクション
 - ◎年次毎の同窓会
- 恩師や友人とのなつかしいお話、運動場でのスポーツ、楽しいお店も開きます。

総会・懇親会は二年に一度です。本年度は総会・懇親会はありません。

考える子どもも育てたい



天小の子どもたちは将来、どのような大阪で学ぶのか。

難松会名譽会長
附屬天王寺小学校校長
水野 恵司

本校を取り巻く、将来の大阪の街の様子(教育環境)を想像してみたい。大阪府人口減少社会(白書)によると2040年に大阪府の人口は750万人と推定され、2015年の800万人に比べて約85%の規模となる。これは970年頃の水準である。15歳から64歳の生産年齢人口は現在の76%の規模となり、逆に65歳以上の高齢者は現在の110%となる。

第一に地域消費量が減少し、労働力不足による産業の縮小が想定できる。人口減少は全国的であるので、国内回産業も縮小する。これに対して市街地は急激に縮小することができないので、町の景観として、物の交通量が減り、空家、空き地が多くなる。建物も更新されなくなる。自治体の税収入削減によって道路や上下水道など公共施設の維持、教育や文化芸術への財政支援が困難になる。15歳未満の年少人口は100万人から70万人となり、約65%に減少する。教育に適正な学校や学校当りの児童生徒数を考慮すれば、公立学校の統廃合が必要となる。大阪府都市部の学校の統廃合は、少子化と学校の統廃合は、少子化と教員の年齢構成から推計して、2025年には現在の3分の1となる予測がある。2040年にはさらに減少する。明らかな可能性もある。都市人口の減少は、消費や廃棄物の少ない良い環境となる。交通渋滞や通勤通学ラッシュが緩和される。土地建物がより良い立地条件で安く利用できる。近年でも都市河川や公園の整備、道路の歩行者や自転車専用道が充実しつつある。老朽化したビルや木造住宅を建て替えるのレトリックと賃料に価値を見出し、小さなオフィスや商店や飲食店やイベント会場を作り、大規模商業施設とは異なる、多様な、個性的な商品や活動が展開し集客の力となっている。このように将来はさらに成熟した美しい住みやすい魅力ある都市となる可能性がある。

2015年は外国人観光客の訪日が増え、大阪も観光客向けの業種で好景気となった。大阪の観光の価値が外国に広まりつつある。観光資源と産業は今後大きな成長の可能性が見込まれ、大阪の経済を潤すだろう。生産年齢人口減少によって、若者にとって良い就業機会が増えるだろう。さらに不足する労働力を補うために、外国人の移住や労働に対する政策転換が求められる。大阪の町の様相は変化する。学校も子どもたちに対する国際教育が重要課題となる。

将来の教員需要減少が避けられないことから、教員養成系大学・大学は、学部教育から大学院や現職教員再教育に重点を移さなければ存続できない。すでに本校では大学院生による研究授業や実習が始まっている。大阪教育大学の組織改



個性豊かな人づくりをモットーに

難松会会長
80期昭和36年卒
西川 雅夫

本校を取り巻く、将来の大阪の街の様子(教育環境)を想像してみたい。大阪府人口減少社会(白書)によると2040年に大阪府の人口は750万人と推定され、2015年の800万人に比べて約85%の規模となる。これは970年頃の水準である。15歳から64歳の生産年齢人口は現在の76%の規模となり、逆に65歳以上の高齢者は現在の110%となる。

第一に地域消費量が減少し、労働力不足による産業の縮小が想定できる。人口減少は全国的であるので、国内回産業も縮小する。これに対して市街地は急激に縮小することができないので、町の景観として、物の交通量が減り、空家、空き地が多くなる。建物も更新されなくなる。自治体の税収入削減によって道路や上下水道など公共施設の維持、教育や文化芸術への財政支援が困難になる。15歳未満の年少人口は100万人から70万人となり、約65%に減少する。教育に適正な学校や学校当りの児童生徒数を考慮すれば、公立学校の統廃合が必要となる。大阪府都市部の学校の統廃合は、少子化と学校の統廃合は、少子化と教員の年齢構成から推計して、2025年には現在の3分の1となる予測がある。2040年にはさらに減少する。明らかな可能性もある。都市人口の減少は、消費や廃棄物の少ない良い環境となる。交通渋滞や通勤通学ラッシュが緩和される。土地建物がより良い立地条件で安く利用できる。近年でも都市河川や公園の整備、道路の歩行者や自転車専用道が充実しつつある。老朽化したビルや木造住宅を建て替えるのレトリックと賃料に価値を見出し、小さなオフィスや商店や飲食店やイベント会場を作り、大規模商業施設とは異なる、多様な、個性的な商品や活動が展開し集客の力となっている。このように将来はさらに成熟した美しい住みやすい魅力ある都市となる可能性がある。

2015年は外国人観光客の訪日が増え、大阪も観光客向けの業種で好景気となった。大阪の観光の価値が外国に広まりつつある。観光資源と産業は今後大きな成長の可能性が見込まれ、大阪の経済を潤すだろう。生産年齢人口減少によって、若者にとって良い就業機会が増えるだろう。さらに不足する労働力を補うために、外国人の移住や労働に対する政策転換が求められる。大阪の町の様相は変化する。学校も子どもたちに対する国際教育が重要課題となる。

将来の教員需要減少が避けられないことから、教員養成系大学・大学は、学部教育から大学院や現職教員再教育に重点を移さなければ存続できない。すでに本校では大学院生による研究授業や実習が始まっている。大阪教育大学の組織改

環境となる。交通渋滞や通勤通学ラッシュが緩和される。土地建物がより良い立地条件で安く利用できる。近年でも都市河川や公園の整備、道路の歩行者や自転車専用道が充実しつつある。老朽化したビルや木造住宅を建て替えるのレトリックと賃料に価値を見出し、小さなオフィスや商店や飲食店やイベント会場を作り、大規模商業施設とは異なる、多様な、個性的な商品や活動が展開し集客の力となっている。このように将来はさらに成熟した美しい住みやすい魅力ある都市となる可能性がある。

2015年は外国人観光客の訪日が増え、大阪も観光客向けの業種で好景気となった。大阪の観光の価値が外国に広まりつつある。観光資源と産業は今後大きな成長の可能性が見込まれ、大阪の経済を潤すだろう。生産年齢人口減少によって、若者にとって良い就業機会が増えるだろう。さらに不足する労働力を補うために、外国人の移住や労働に対する政策転換が求められる。大阪の町の様相は変化する。学校も子どもたちに対する国際教育が重要課題となる。

将来の教員需要減少が避けられないことから、教員養成系大学・大学は、学部教育から大学院や現職教員再教育に重点を移さなければ存続できない。すでに本校では大学院生による研究授業や実習が始まっている。大阪教育大学の組織改


環境となる。交通渋滞や通勤通学ラッシュが緩和される。土地建物がより良い立地条件で安く利用できる。近年でも都市河川や公園の整備、道路の歩行者や自転車専用道が充実しつつある。老朽化したビルや木造住宅を建て替えるのレトリックと賃料に価値を見出し、小さなオフィスや商店や飲食店やイベント会場を作り、大規模商業施設とは異なる、多様な、個性的な商品や活動が展開し集客の力となっている。このように将来はさらに成熟した美しい住みやすい魅力ある都市となる可能性がある。

2015年は外国人観光客の訪日が増え、大阪も観光客向けの業種で好景気となった。大阪の観光の価値が外国に広まりつつある。観光資源と産業は今後大きな成長の可能性が見込まれ、大阪の経済を潤すだろう。生産年齢人口減少によって、若者にとって良い就業機会が増えるだろう。さらに不足する労働力を補うために、外国人の移住や労働に対する政策転換が求められる。大阪の町の様相は変化する。学校も子どもたちに対する国際教育が重要課題となる。

将来の教員需要減少が避けられないことから、教員養成系大学・大学は、学部教育から大学院や現職教員再教育に重点を移さなければ存続できない。すでに本校では大学院生による研究授業や実習が始まっている。大阪教育大学の組織改

「パスケース」

難松会では、毎年卒業生に記念品を贈呈していますが、本年度135期卒業生には、写真の「パスケース」を贈ることになり、卒業式当日に、卒業生全員に渡されます。



135期卒業生記念品

革新も誠に驚くべきものがありますが、成熟社会を迎えた今、我が国日本も、また個人も「あなたの志は、何ですか?」と尋ねられると、明確に答えられないのが現状ではないかと思えます。夢ではなく、実現可能な、心に秘めた目標を志す。捉えるならば、小学校時代の実体験が大きく影響していると思えます。

本年も個性豊かな人づくりをモットーに附属の良さが十分活かされた人材が一人でも多く生まれることを祈念申し上げ、また共に、難松会の皆々様の活躍とご健勝を心より期待申し上げます。当会のますますの発展にご協力賜りますようお願い申し上げます。

難松会 ホームページ

<http://www.hinamatsu.com/>

総会・懇親会の案内や難松会の歩み、役員と各期幹事、会費・協賛金の案内、そして会報のバックナンバーもご覧いただけます。是非「お気に入り」に入れて、時々難松会のことを思い出して下さい!

退任された先生からのメッセージ



伝統と愛

大阪市立磯路小学校へ転出

私は、附属天王寺小学校に平成21年4月に赴任し、6年間の世話になりました。



高井 大輔 先生
(国語)
(平成21年4月～平成27年3月)

離れた今も、心より感謝しています。在職中は、ご縁があって、雑松会の担当を3年間務めさせていただきました。私が関わった時期には、ちょうど、雑松会名簿の編集と、「ひなまつ広場」の起工の仕事がありました。

雑松会名簿の編集では、その「伝統」の重みを感じることができました。1万人をはるかに超える会員のみなさまの存在を、身近に感じました。私は、2度6年生を送り出す機会があったのですが、その度に、卒業生たちが雑松会の歴史のページに加わったことを意識し、それに関わることができたことを誇りに思っています。

「ひなまつ広場」の起工の際には、幹事会にて会員のみなさまの様々な思いを感じることができました。どの方のお言葉からも感じるのは、附小に対する不朽の「愛」です。卒業されて何年、何十年も変わらぬ「愛」をもって、附小を包んでいてくださること、そして、我が子のように、附小の子も私たちのことを思っていてくださることを実感し、身が引き締まりました。

この6年間の経験は、私にとって一生の財産となりました。そして、附小を離れた今だからこそ、その「伝統と愛」に懐かしさを感じ、また、その重みの大きさを感じています。6年間、本当にお世話になりました。附属天王寺小学校と、雑松会の益々の発展を、心より祈念いたします。



謙虚さ

大阪市立磯路小学校へ転出

2年間という短い間でしたが、附属天王寺小学校で本当に多くの事を学ばせていただき、本当にお世話になりました。たくさんの方に支えられて、勉強させていただくことができました。ありがとうございました。



久保田 倫拓 先生
(算数)
(平成25年4月～平成27年3月)

なつてから初めて劇を担当しました。台本を作ったり衣装を作ったり、股ボールに絵をかくてお守を作ったりとこの間は、一生懸命になっていました。「この目標に向かって全員力を合わせる」という経験は、今後大切にしていきたいと思います。

そして、2月に研究発表会では、たくさんのご指導をいただきました。教科の本質をどう見ると、子どもの思考をどうに読み取らなければならないのか、教師はどのようにあるべきなのかを学び、不十分ながらも授業に活かしてまいりました。ご助言していただいたことを今後も活かしていきたいと思います。

また、私がこの附属天王寺小学校で学ばせていただいたのは、謙虚な心を持って取り組むことだと思います。来させていたのは、自分は何でもかまわぬと思ってしまう。本当に謙虚に学ぶ姿勢を忘れていたと思います。2年間の中で、授業・行事・学級経営、校務など様々な事について、たくさんの方を教させていただきました。ありがとうございました。

最後にになりましたが、大阪教育大学附属天王寺小学校と雑松会の益々の発展と、皆様のご多幸を心から祈り申し上げます。



お礼のことば

大阪市立阪南小学校へ転出

雑松会の皆様、在職中は大変お世話になりました。ありがとうございました。赴任して間もなく「雑松会総会」に参加させていただく機会がありました。そこで多くのOBの方のお話をお聞きし、皆様が、どれほど附属天王寺小学校を大切に思っておられるかを感じることができました。そして附属天王寺小学校で働くことの責任感が身を引き締まる思いがしたことを今もはつきりと覚えております。



吉門 妙子 先生
(算数)
(平成20年4月～平成27年3月)

7年間のの中で、先輩の先生方になんか叱られ、事柄、そして見守っていただきました。臨海学習に行く前は、放課後プールで練習し「子どもたちを先導するためには、泳力だけでなく、泳ぐスピードも調整することの大切さ」を学びました。運動会・学芸会前には、「過去の先生方のDVDを比較・分析し、個が生きたための内容構成の仕方考えなくてはいけないこと」を知りました。また教育実習では、若い学生たちに「教える」よりも「教わる」ことが多く、「初心に振り返り自身を努力すること、学び続けることの必要性」を実感しました。

そして研究発表をするにあたっては「子どもたちのためにどんな授業をすればいいのか」「それが附属として提案性のあるものなのか」など、眠れないほどの苦しみを味わいました。どれも、今振り返ってみると、大切な経験だったと言ったことができます。

これらの、時には辛く苦しい経験にも立ち向かっていってできたのは、目の前の子どもたちと保護者の方々のご期待を持って見て下さったからに他なりません。10分期待を添えなくても附属を去ってしまえば残念ですが、7年間を教えたのだと、育っていたのだと感謝しながら、これからも学び続ける教師でありたいと思っております。皆様に出会えたことが、教師としての大きな財産であり、宝物となりました。

お礼の言葉は尽きませんが、附属天王寺小学校と雑松会の益々の発展を心より祈っております。本当にありがとうございました。



心に残る歌声

摂津市立府村小学校へ転出

私は平成22年から5年間、附属天王寺小学校でお世話になりました。赴任して最初の行事である入学式で聞いた子ども達の歌声は今も耳に残っています。柔らかく力強い歌声が轟堂いっばいに広がった、そのすばらしさに圧倒されました。このような力のある子どもへの指導のイメージがもてず、どうすればよいか押しつぶされそうになりました。このように先生方が実践的な指導を見せて下さったり、適切なアドバイスをして下さったりと、二から教えていただき、丁寧な努力をされた肝に銘じてお見せしました。



三浦 聡子 先生
(音楽)
(平成22年4月～平成27年3月)

学芸会では、子ども達の持ち味が生かせるような視点に気付かせていただきました。他学年の音楽や劇の発表には、感極まる場面もありました。これほどまでに質の高い演技や演奏を指導される先生方に畏敬の念を抱けはかりました。

最後にになりましたが、大阪教育大学附属天王寺小学校と雑松会の益々の発展と、皆様のご多幸を心から祈り申し上げます。



ありがとうございました

八尾市立八尾小学校へ転出

1335期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、雑松会の皆様、このような機会をいただき誠にありがとうございました。



梅井 大輔 先生
(体育)
(平成17年4月～平成27年3月)

附属天王寺小学校に勤務した10年間で、教師とは「教える人」であり「教えられる人」を続ける人と教えられる人との10年間で、子どもたちから学んだこと、「子どもは誰かである」ということ。子どもが見せてくれる姿は、自分の姿ではない。私自身が頑張っている時は、子どもも頑張っている。気が入っていない時は、同じように気が入っていない。子どもに言う前に、まず自分の姿を振り返る。この大切さを教えることができました。1337期生、1338期

生、1331期生、1334期生、1337期生の皆さん、ありがとうございました。

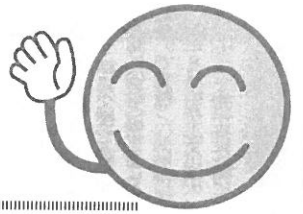
その他にも運動会の金管バンドの指導、学芸会、卒業式など、本番にどのような演奏をめざすか、そのためにどんな選曲をし、どんな段階を踏んで指導するか、児童理解を土台とした指導について学びました。最後の年も3年生を担当させていただきました。本当に幸せな日々を過ごすことができました。元気な子ども達の歌声に胸がいっばいになった日々を思い出します。

またPTAコースでは、つたない指導にもかかわらず、保護者の皆様とOGの方々に支えていただき、大好きな合唱を通して楽しい時間を過ごさせていただきました。PTAコースの一員として雑松会の総会発表する機会と一緒に校歌を歌わせていただきました。雑松会の皆様の母校への熱い思いに触れ、あたためた思いを感じることができました。

附属天王寺小学校では、それまでの教員生活では持ち得なかった視点をもつことができ、見方考え方を交えるだけでなく視野を広げることができました。5年間で学んだことは、私の指針となっています。附属天王寺小学校の先生方、保護者の皆様にご支援いただき、素直で力のある素晴らしい子ども達と授業に取り組めたことに、深く感謝致します。ありがとうございました。

最後にになりましたが、大阪教育大学附属天王寺小学校と雑松会の益々の発展と、皆様のご多幸を心から祈り申し上げます。

雑松会の皆様から学んだこと。すべては「人間性」につながるということ。歴代会長様の話から、徳・飛び込んでいる言葉の裏にはその会長様の一生の様相があることに気づきました。また、雑松会の方々も「一緒に学ぶ時間」の使い方のうまさを驚かされました。時間の効果的な使い方が人生における賢知といつてもいいかもしれません。会う方々すべてが魅力的なオーラをまとって、真の自分自身に気づき、それをいかに伸ばしていくかが人生であること教えていただいたと思っております。雑松会の皆様の益々の健康を心からお祈りいたしております。ありがとうございました。



お元気ですか

昨年寄せられた近況報告の中から掲載しています。年に1度の会報発行ですので、タイムリーに報告出来ないのが残念です。

級・友・か・ら・の 近況報告 エ・ト・セ・ト・ラ

私達団練組も八十路を過ぎましたがお友達のシャシンの会に集まって居ります。

平成26年4月に退職。毎日ランニングしております。

だきごも優しく生徒みんなを包んでくれるような先生だったとよく覚えてます。ご冥福をお祈りします。

68期 (昭和24年卒)
河島 啓明

昭和24年卒の6年2組(実野先生)でしたので、69期6年2組の座談会記事に興味深く読ませて頂きました。

11期 (平成4年卒)
稲尾 慈恵 (旧姓河野)

結婚6年してようやく子供を授けました。娘の成長を楽しみに仕事・育児に励んでおります。

69期 (昭和25年卒)
佐野川谷 大治

6年2組の佐野川谷です。難松懐しく楽しんで拝読しました。嬉しくて本年度の年会費は「特別賛助会費」を納めさせて頂きました。

82期 (昭和38年卒)
石谷 隆子 (旧姓嶋崎)

自営の個人事務所を法人化しました。(H27・4・1より)

71期 (昭和27年卒)
後藤 忠彦

平成26年秋、あへのハルカス展望階から母校校舎や運動場を眼下に見、60数年前の我が身に想いを馳せました。

87期 (昭和43年卒)
奥田 善弘

約38年のフランス生活、芸術活動にひとまず区切りをつけて帰阪しております。本年(2015年)6月には、再びフランスナンシー市にて個展を予定しております。

71期 (昭和27年卒)
高田 マリ (旧姓石原)

元気を歌っています。母は100歳になりました。

91期 (昭和47年卒)
浜田 優子

お世話役さんおつかれ様です。49卒、51卒の第2入者ちゃんと年会費を支払ってほしいです。

76期 (昭和32年卒)
若井 肥子 (旧姓小泉)

元気にしています。

97期 (昭和53年卒)
永岡 俊哉

フェイスブックでつながった同窓生と食事会等しております。

80期 (昭和36年卒)
西田 千鶴 (旧姓宮本)

元気で、ぼろぼろ仕事頑張っております。土曜日は仕事ですので、機会ができれば、ご連絡させていただきます。

97期 (昭和53年卒)
福田 昌史

難松会役員幹事の先輩後輩と会う(呑む)機会が増えました。役員幹事の方々への努力に本当に感謝しております。

81期 (昭和37年卒)
佐藤 満

お陰様でまだ元気にやっております。そろそろリタイアを考えております。年ごと、東北へ移っているようです。

105期 (昭和61年卒)
谷崎 貴士

第46号会報にて、漕江陸郎先生が「くになつたことを知り、残念な気持ちで一杯です。私が小学校に入学した1年生組を担当していた

70期 (昭和26年卒)
城戸 義雄

難松46号の25年卒の方々の座談会、面白く拝読いたしました。私達は1年後輩の26年卒です。昭和20年入学ですが、4月の入学式も無く、授業が始まったのは9月になってからと記憶しております。1年は男女別クラスで、2年から共学の春組、3年から1組ごとなりましたが、卒業まで組替は無く、また担任は3年からずっと黒松先生だったこともあり、仲良しクラス、毎年クラス会(黒松会)が続いています。昨年も1人が元氣な顔を見ました。

120期 (平成13年卒)
入江 佑子 (旧姓野野)

大学卒業後、2年の研修医生活を終え、産婦人科医として一歩を踏み出しました。また、この度、婚姻に伴い姓が変わりました。披露には附小の同期も駆けつけてくれ、改めて附小の絆を感じました。120期で同窓会またしたいです。

64期 (昭和20年卒)
平木 玲子 (旧姓倉七)

一昨年暮に体調を崩し、一人暮らしも25年程、息子達に誘われ、気分良く東京にしました。長い関西の風も、穏やかに心への感謝として附小の皆様とすうと御付き合い頂いて居る方が多々、一生の友を頂いた難松会を懐かしく。

130期 (平成23年卒)
水野 智裕

いつもありがとうございます。附属生活も11年目に入っております。これからもよろしくお願ひいたします。

62期 (昭和18年卒)
中島 喜久子 (旧姓佐々木)

私達昭和18年卒性は毎年6月第2日曜日に「天王寺都ホテル」で、学年会を開催しています。なつかしい話や、皆様お元気な話題のご報告。何時も、楽しんで過ごさせて頂いて居ります。約10数名(男子が殆ど)女子は少しです。

65期 (昭和21年卒)
小川 やす子 (旧姓万年)

何時も色々とお世話に成り厚く御礼申し上げます。

63期 (昭和19年卒)
大井 孝子 (旧姓藤木)

入学時の卒業迄(19年)入学会を開催しています。平成26年は男3、女9の合計12名が集まりました。今年もホテル日航大阪に集う予定です。

66期 (昭和24年卒)
乾 登美子 (旧姓浦野)

昭和25年卒の方達の座談会の記事もとても面白く読ませました。

59期 (昭和15年卒)
小畑 哲雄

卒業して75年になります。妻も4年前に亡くなり、87歳で一人暮らしです。でも元氣です。

60期 (昭和16年卒)
勝又 朝昭

昭和16年卒男女組は毎年10月10日に双舟会(称し、同窓会を開催)しています。平成26年は男3、女9の合計12名が集まりました。今年もホテル日航大阪に集う予定です。

57期 (昭和13年卒)
吉田 泰夫

いつも御案内を頂き有難うございます。大震災や大津波の惨状がテレビや新聞紙面に載せられる度に、若い頃、大空襲で焼野原になった大阪の市街を思い出します。

62期 (昭和18年卒)
田村 新太郎

卒業40年目の昭和58年に、男子組交組合同で「フラスコ」(旧名会と命名)を開催してから、毎年6月に会を開いています。今年で38回を迎えますが10人の方が集まって下さいます。85歳前をみんな高齢者が、2人になるまで続けば頑張っています。

58期 (昭和14年卒)
南司

老齢の私も「なつかしく、かつ、たのしい」連絡を頂きありがたく存じます。このつながりが一刻一刻と心より願っております。ありがとうございます。

64期 (昭和20年卒)
池田 卓也

体力・脳力の衰えを自覚する毎日ですが、集団疎開、大阪大空襲などを体験した最後の世代として、孫達やさらなる世代に伝える責任を果たしたいと努力しています。

54期 (昭和10年卒)
岩井 雛子

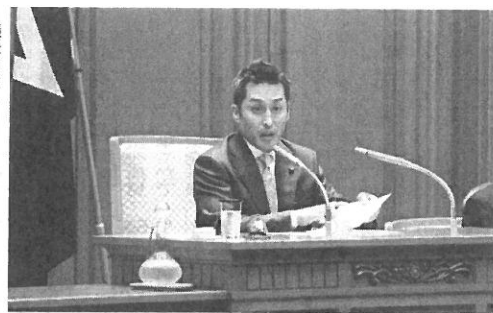
札幌に移って80年。いつも雪の中で難松会報を見届けておりました。華やかで懐かしい大阪の空気を一杯届けて頂きました。私も92歳になりましたので、パソコン身ごまきをすすむ事に致しましたので、便りもこれを最後に致します。永い長い間担当させて頂いた皆様へ心から有り難う御礼を申し上げます。

55期 (昭和11年卒)
岩井 雛子

札幌に移って80年。いつも雪の中で難松会報を見届けておりました。華やかで懐かしい大阪の空気を一杯届けて頂きました。私も92歳になりましたので、パソコン身ごまきをすすむ事に致しましたので、便りもこれを最後に致します。永い長い間担当させて頂いた皆様へ心から有り難う御礼を申し上げます。



ひさしぶり～ 難松会総会で



第112代大阪府議会議員 東 貴之さん 101期 (昭和57年卒)

議としての
の主な仕事
は？

5月からの
定例議会に始
まり、翌年2
月・3月の予
算を審議する
議会等の議会
進行がメイン
ですが、議会
としての対外
的な発信、関
係各団体や国内・海外から
のお客様の表敬を受けたり
することも大切な仕事です。

雑松会員の中には、現在に至るまで国会議員や地方議員として活躍された方々も多くおられます。現在、伝統ある大阪府議会（大阪府会）の第112代議長としての重責を担われている東貴之さん（101期・S57年卒）を大阪府役所の市会議事室に訪ねお話を伺いました。

市会議長になられて今までと変わったこととは？
当然のことですが、公務が大幅に増えました。一市会議員としては会費もないような多分野の方々とお会いして意見交換できますし、海外の方と接することも多いですね。

昨年8月に赤十字全国大会が大阪で開かれた際には、皇太子殿下をお迎えし、府知事・市長・府議会議長・

現状は議長の公務が多いというところですが、市議員として平日頃から心掛けていることは？
毎年行われているイベントを見ていると、定評観察が出来てよくなるのですが、参加者の年齢層が、人の流れ、車の混雑具合など必ず変化があります。

市民の皆さんからは、昔からよくある個人的な悩みと、共に街自体にも必ず変化が起きています。そういった街の変化に我々は敏感にならないといけません。そこから感じたいことを市政の運営に生かしていくことが大切だと、日頃から心掛けています。

雑松会員には、中高生や大学生、若い社会人も多くいます。後輩たちに一言贈る言葉をお願いします。
偉そうなことは言えませんが、振り返ってみると、小・中・高それぞれの時代で夢を追いかけていました。今、色んなことを経験したら、様々な人と出会った中で、夢を追いかけることの素晴らしさを改めて認識しています。夢や志を持って頑張っている人が評価される社会や仕組みを作れるよう、自分も頑張りたいと思いますので、若い人たちにはぜひ夢を追いかけてもらいたいですね。



市会議長として、議運運営に心掛けています。NHK朝ドラ「あさが来た」主演の波瑠さんが来た。NHK朝ドラ「あさが来た」主演の波瑠さんが来た。NHK朝ドラ「あさが来た」主演の波瑠さんが来た。

4月に皇居で開催される「桜を観る会」にも、皇太子殿下をお迎えし、府知事・市長・府議会議長・

がんばってます！ 級友
同窓生の活躍

TOPICS アジア自転車競技選手権 女子ジュニアロードレース優勝！

下山 美寿々さん 131期 (平成24年卒)



雑松編集部にも下山さんからコメントが寄せられました。
「初めて国際大会に出場し、結果を出す事が出来て良かったです。しっかりと厳しい練習をして臨んだ成果があったと思いました。さらに、この大会でアジアだけではなく、世界で戦える選手になりたいと強く感じました。応援して頂いた皆様へ、感謝の気持ちでいっぱいです。今年の目標は、6月と11月の全日本選手権で優勝、10月の世界選手権で入賞することです。これからも1つ1つの事に全力で取り組み、目標達成に向けてベストを尽くしていきたいと思えます。」

2016年1月22日、伊豆大島で行われたアジア自転車競技選手権大会の3日目、女子ジュニアロードレースで、131期生（平成24年卒）の下山美寿々さん（大阪教育大附属高槻女子校舎）が優勝、金メダルを獲得する快挙を達成しました。
以下はレース詳細のダイジェストです。
ロードレースの舞台は東京都・大島市庁舎をスタート・フィニッシュ地とする1周11.9kmの周回コース。1周の獲得標高は9.1m、標高差は6.7m。三原山に向かう山道、タイムトライアルでも使用された、風の影響のある海岸線沿いを巡るコースとなっている。
ロードレースの皮切りとなった女子ジュニアは6周回71.4kmで争われた。15名がエントリーし、日本から細谷、下山の2名が出場。レース序盤1周目に下山と台湾のチャンティンティンの2名が集団から飛び出し逃げクループを形成し、周回を重ねて行く。
後続集団と先頭の2人とのタイム差は徐々に広がり、残り1周までその差を5分半まで広げ、2人の逃げ切りが決定点となった。
結局2人は60km近く逃げ続け、勝負の行方はスプリントへ。残り100mまで力を温存した下山は伸びのあるスプリントで優勝。また2名となった後続集団では細谷がスプリントで制し3位に入った。
フィニッシュ後、開口一番「信じられない」と声を上げた下山は、「自分が自信のある上りで勝負するため最終周回にかけたが、うまくゆかずスプリント勝負へと切り替え優勝することができた。今後アジアチャンピオンとして強いレースをしていきたい」と語った。

報告 同期会 82期

82期 (昭和38年卒) 桃田 雅好

いしをお迎えし、10名が参加し、団体予約でスムーズに展望台へ。二上山を望む東方から見学スタート。地上300mからの広大な景色を一望しつつ、まじりと眼下に母校の附小が... ちょっと感激しました。さらに左方向に目を移すと教育大と附中、附高も。そして遠くに四天王寺や大阪城も見え、絶景を堪能しました。1次会 (大阪マリオットホテル懇親会) 20名が参加し、添付写真がその顔ぶれ。会食に先立ちミニセミナーを企画。年金世代の関心は、やはり『健康』という事で、第三共のくろ屋の親方の中山君が、7カ分で講義。20分の予定が、国際シンポジウム並みのパワポ内容と機材の不具合から大幅な時間オーバー。司会進行が大変でした。やっ

先生をお迎えして本日はお



祝 年金同期会

会報 雑松から見えてきた自分史



恩師米田万作先生から(君が同窓会幹事やで)と電話をいたしてから何年経ったでしょう。雑松会会長木下氏(日立造船社長)時代が若いメンバーとして初参加。その後どういっか、次代会長金森茂二氏(昭和10年卒、近鉄社長)一柴田稔氏(昭和17年卒、東洋紡社長)一錢高一善氏(昭和31年卒、錢高相社長)とそれぞれ10年間はあったという面では、先輩方が何とか続いてこられた本会が、今日若い人たちに運営されているのを見ても隔世の感があります。その中で最近不思議なことが起こりましたので報告します。

会報雑松の末尾に会報納入者簿が載っていますが、最近まで私と同じ岸本姓で卯一郎さん(昭和10年卒)という方からいつも会費の振込をいただけておりました。今年初め私共の檀家寺の住職、黒林さんから別の岸本家の法事の

附小でつながる…我が家系

74期 (昭和30年卒) 岸本 光正

場(同じ岸本さん名です)からひょっとして何かの関係があるかも、ついでに電話してみよう」といふ話があり、あちらの岸本隆太郎さんに連絡を入れた。よく聞いてみるとその場合は岸本卯一郎さんの法事であったこと、そうえ、卯一郎さんの先代、先代の日記から私の父母と私の名前や住所が出てきたことを聞いて、びっくりです。実は私の方は戦時の大規模に大寺の家はまるごと、何も残っていない状況ですので、早速家系図を照らし合わせてみることにしました。

偲ぶ

松井名誉理事長を偲ぶ



少時に亡くなられたと聞いておりませんが太極敬虔なファミリーで、彼女もまた生まれ、真に洗練を受けた女性です。私たちの幼稚園もキリスト教であったので日曜日教会へ行っていた記憶がはっきりと頭にあります。昨今の私は状況した時には必ず多摩摩地をほじめ各処に多摩世話になった恩人の方々のお墓にお参りするにしておりますが、その後、埼玉県入間市の幸子さんの事務所に立ち寄ることもあります。時には手紙を書いたりもする。思いがけぬところでもありましたが、友情は誠有難いものであります。さて、松井幸子さんは独身のまま、これらの福祉事業に携わって、ご自身の人生をしっかりと充実させていたのだと私は思

聖女 幸子ちゃんこと 松井幸子さんの思い出

61期 (昭和17年卒) 柴谷 一慶

同期・昭和17年卒業の松井幸子さんが昨年の4月25日に亡くなった。この連絡が彼女の事務局の方から受けた時、私のショックは大変なものがあった。幸子ちゃんとは幼稚園からの『おきん』と通称で呼ばれていた。この天王寺幼稚園からの雑松会同期会は男子7名、女子6名と、やはりクラスでは多い割合であった。更に幸子さんはお兄さんが3人で住吉中学(現住吉高校)の先輩であった。特に中のお兄さん松井孝二さんは松井運動部の先輩、戦後の大学体育会活動が復活して、中々も慶義塾体育会経理部はリーダーとして活躍。松井先輩は唯、お母さんは彼女の幼

平成27年度

年会費納入者指名

(平成28年2月10日現在・敬称略)

- 特別賛助会員
岩井 雛子・山本 輝郎・深田 尚彦・辻本 節子・佐野川谷 大治・曾川 敏彦・乾 篤弘・安田 美津子・戸川 睦子・中川 忠彦・西川 雅夫・吉村 計三・木下 吉博・菊田 吉敏・西村 泰彦・島野 泰三・江藤 智恵
賛助会員
大西 英子・柴谷 一憲・岸本 光正・秋田 光哉・太田 祥彦・服部 浩治・竹野 元二・竹野 悠佳
昭16年卒
昭17年卒
昭18年卒
昭19年卒
昭20年卒
昭21年卒
昭22年卒
昭23年卒
昭24年卒
昭25年卒
昭26年卒
昭27年卒
昭28年卒
昭29年卒

- ◎平成27年度も多くの方から年会費を納入していただきました。感謝申し上げます。
◎事務処理上、誤り・脱落もあるかと思えます。お気付きの方は雑松会事務局までFAXにてご連絡ください。(FAX06-6771-6116)
◎平成28年度の会費は別記の様になっております。重ねてご協力をお願いします。

- 澤井 里香子・村上 正剛・太田 祥彦・多屋 貞一・服部 浩治・村上 上昭
昭53年卒
昭54年卒
昭55年卒
昭56年卒
昭57年卒
昭58年卒
昭59年卒
昭60年卒
昭61年卒
昭62年卒
昭63年卒
平成元年度卒
平成2年度卒
平成3年度卒
平成4年度卒
平成5年度卒
平成6年度卒
平成7年度卒
平成8年度卒
平成9年度卒
平成10年度卒
平成11年度卒
平成12年度卒
平成13年度卒
平成14年度卒
平成15年度卒
平成16年度卒
平成17年度卒
平成18年度卒
平成19年度卒
平成20年度卒
平成21年度卒
平成22年度卒
平成23年度卒
平成24年度卒
平成25年度卒
平成26年度卒
平成27年度卒
全員

雑松会会計平成26年度収支計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日
会計幹事 赤尾 滋樹

Table with financial data for the association. Includes columns for 'Income' (収入), 'Expenses' (支出), and 'Reserve' (繰越金). Total income is 2,589,681 and total expenses are 2,087,950.

監査 岡本 明剛

平成28年度年会費について

- 同封の払込用紙をご利用下さい。
●30才以上の正会員の方は3,000円です。
●30才未満の正会員の方は2,000円です。
●賛助会費は5,000円、特別賛助会費は10,000円です。
●平成27年度卒（平成28年3月卒）の方は全員年会費を別途いただきますので、払い込みは不要です。
●同封の年会費払込用紙には、会員番号が印字されていますので、ご確認ください。（氏名右下バーコード横の7桁の数字）
●通信欄に近況報告等をお書き下さい。会報次号でご紹介します。
郵便振替 大阪00960-2-27966雑松会宛